コプリガード

コプリガードは、[スタンダード版]と[サーバー管理版]を用意しています。
運用目的や規模に応じてお選びいただけます。

「スタンダード版」と「サーバー管理版」の違いはWebサイト(製品タイプ)をご覧ください。 https://www.tsslk.jp/cp/type/

コプリガード[スタンダード版]

[スタンダード版]は、保護ポリシー作成から利用制御まで、
PCにインストールするだけで手軽に運用できる製品です。
管理者が使用する「ポリシー作成ツール」と、
利用者が使用する「保護ツール」で構成されます。
管理者は「ポリシー作成ツール」を使って、保護ポリシーの設定や、
「保護ツール」のインストーラー作成を行います。
作成した「保護ツール」を利用者PCにインストールすることで、
ファイルのコピー／印刷／保存／画面キャプチャーなどを利用制御できます。

動作環境

最新の動作環境は、Webサイトでご確認ください。

■ポリシー作成ツール／保護ツール

対応OS	●Windows

※インストールには管理者権限が必要です。

共有フォルダー保護拡張オプション

コプリガードをインストールしていないデバイスから、共有フォルダー(重要領域)へのアクセスをコプリガードだけで防止できるオプションです。
さらに暗号化を併用することで、より安全なシステム環境を実現できます。
「スタンダード版」「サーバー管理版」両タイプに追加できます。オプション単体での購入はできません。製品ライセンスと同数の購入が必要です。

コプリガード[サーバー管理版]

[サーバー管理版]は、[スタンダード版]の機能に、保護ポリシーや
ユーザー／グループ／端末情報を一元管理できるサーバー機能を追加した製品です。
ユーザー／グループ情報は、Active Directoryからインポートし同期が可能です。
管理者が利用する「管理サーバー」と、利用者が使用する「保護ツール」で構成されます。
「管理サーバー」で、保護ポリシーをユーザー／グループ／端末単位で一元管理できます。
利用者の保護ポリシーを変更したい場合は、「管理サーバー」で変更して
利用者PCへ簡単に適用できます。

動作環境

最新の動作環境は、Webサイトでご確認ください。

■管理サーバー

対応OS	●Windows Server
Java	●Adoptium OpenJDK
データベース	●SQLite
ブラウザー(管理画面用)	●Microsoft Edge / Google Chrome

■保護ツール

対応OS	●Windows

※インストールには管理者権限が必要です。

製品詳細、価格などについては、Webサイトをご覧ください。

※コプリガード、CopriGuardは、株式会社ティエスエスリンクの登録商標です。※Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※その他、記載された会社名、製品名などは、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。※本紙に記載されている内容は、改良のため、予告なくデザインや仕様を変更することがあります。

2024年11月現在　第11版

株式会社 ティエスエスリンク

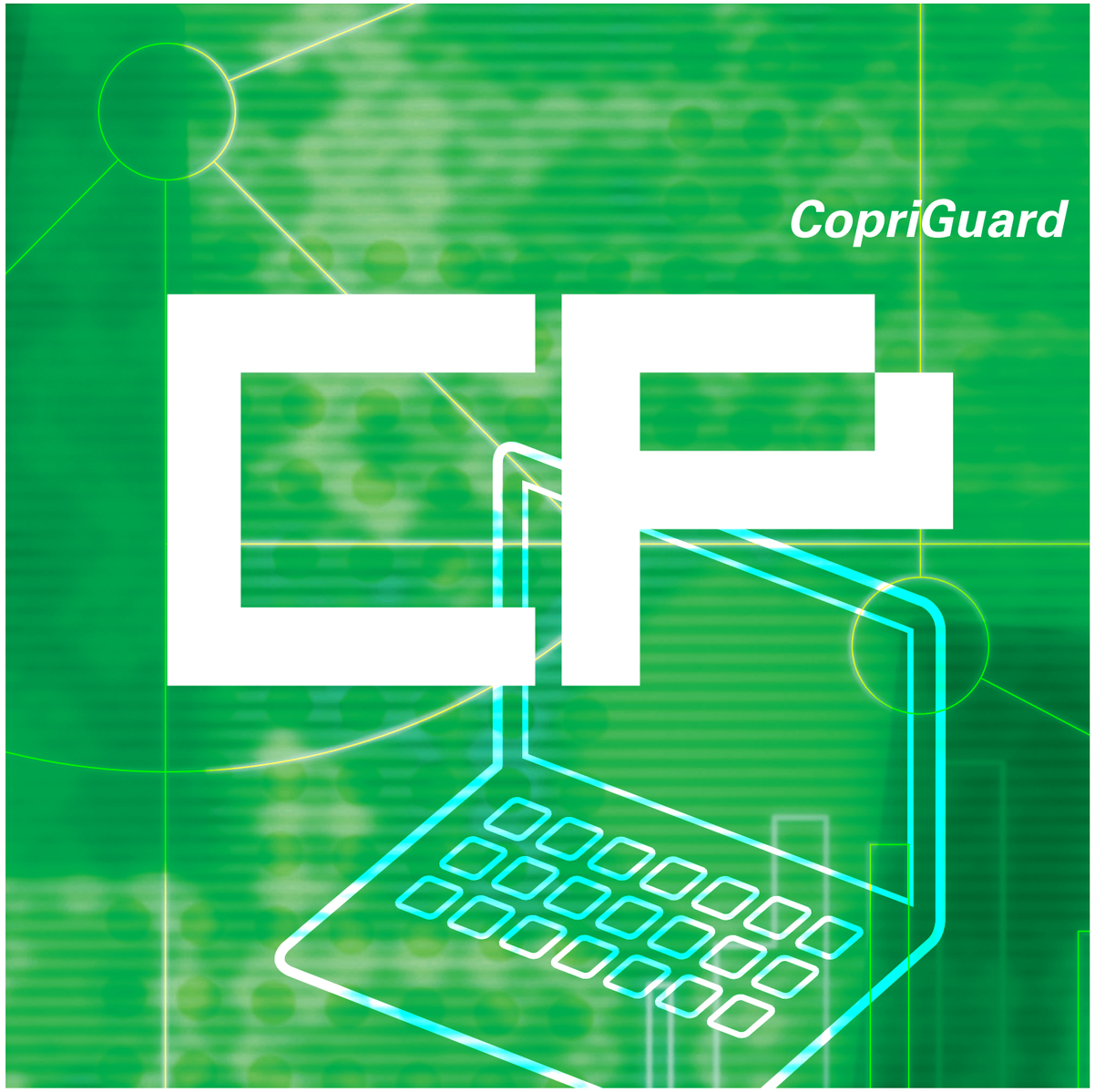
情報サイト　https://www.tsslk.jp/cp/
お問い合わせ　info@tsslk.jp (もしくは以下のTELまで)
〒770-8053 徳島県徳島市沖浜東3-46 Jビル東館4F
TEL:050-1748-1144

製品に関するお問い合わせは

コピー＆プリント防止ソフト

コプリガード

TSS LINK



重要ファイルの持ち出しや画面キャプチャーによる情報漏洩を防ぐ

■パソコンでのコピー／印刷／画面キャプチャーを禁止します
■ファイルサーバーからのファイル持ち出しを禁止します
■利用者／パソコン／アプリケーションごとに保護ポリシーを設定できます
■管理ツールで保護ポリシーを簡単に作成できます
■管理サーバーで保護ポリシーの一括管理ができます

パソコンでの情報漏洩リスクとなるコピー／印刷操作を禁止

「コプリガード」は、パソコンでのコピー／保存／印刷／画面キャプチャー／プリントスクリーン／メール添付などを禁止する情報漏洩対策ソフトウェアです。
ファイルサーバーからローカルへの保存禁止、パソコンから外部メディアへのファイル持ち出し禁止、特定業務アプリケーションでの印刷禁止／プリントスクリーン禁止など、さまざまなシーンでの情報漏洩対策に利用できます。



特長1 パソコンでのコピー／印刷／画面キャプチャーを禁止

あらかじめ設定した保護ポリシーに従い、パソコンでのコピー／印刷／画面キャプチャー／プリントスクリーンなどを禁止することができます。



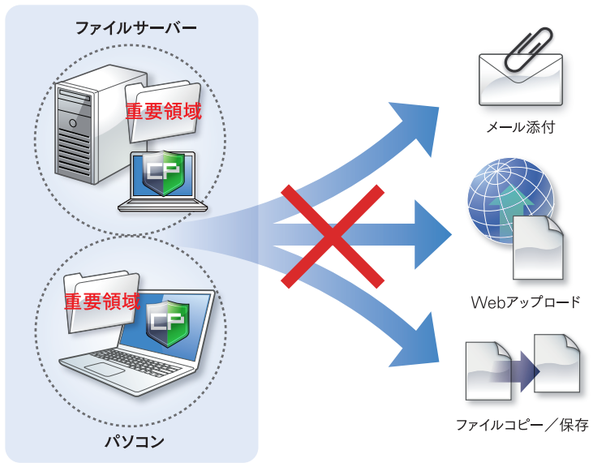
※利用者の操作がコプリガードによって禁止された時には、利用者PCの画面右下にある通知領域にメッセージが表示されます。
※印刷を許可した場合は透かし印刷が可能です。
※Windowsの通知の設定をオンにしている場合に表示されます。

制御する動作

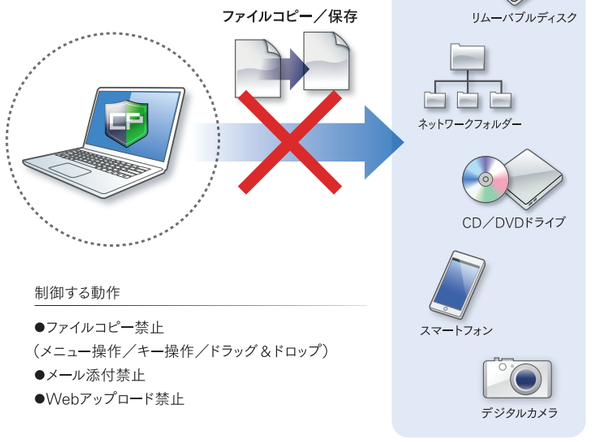
- ●コピー禁止（メニュー操作／キー操作／ドラッグ＆ドロップ）
- ●印刷禁止（プリンター出力／デジタルファイル出力）
- ●画面コピー禁止（Print Screenキー／キャプチャーソフト）

特長2 ファイルサーバーからのファイル持ち出しを禁止

ファイルサーバーの指定領域（重要領域）から、ローカルへのファイルコピー／保存／メール添付／Webアップロードを禁止できます。



また、USBメモリー／ポータブルデバイス（スマートフォン、タブレットやデジタルカメラ）など、外部メディアへのファイルコピー／保存も禁止できます。
Bluetooth通信、赤外線通信による外部へのファイル持ち出しも禁止し、より安全性を高めます。



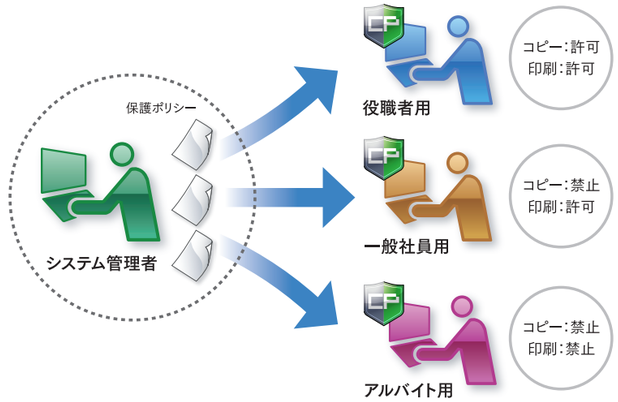
制御する動作

- ●ファイルコピー禁止（メニュー操作／キー操作／ドラッグ＆ドロップ）
- ●メール添付禁止
- ●Webアップロード禁止

特長3 利用者／パソコン／アプリケーションごとに保護ポリシーの設定が可能

「アルバイト用PCはコピー／印刷を禁止」「一般社員用PCはコピーだけ禁止」など、部署や役職で異なるポリシーを設定でき、業務フローを変えずに柔軟な運用ができます。
また、「特定の業務アプリケーションだけはコピー／印刷を禁止したい」、「リモートツールだけは利用を許可したい」など、現在の業務に影響しないように、アプリケーションごとにきめ細かく設定することができます。

※1台のPCを複数で共有利用している場合でも、ログインユーザーごとに異なる保護ポリシーを設定して利用制御が可能です。



持ち出し申請機能を利用すれば、保護ポリシーで禁止されたファイルを必要に応じて申請承認して、持ち出しや印刷を可能にできます。

特長4 管理ツールで保護ポリシーを簡単に作成

禁止操作の保護ポリシーは、既定のポリシーテンプレートから選ぶことで簡単に作成できます。さらに、必要に応じて細かく設定することができます。

※コプリガード［スタンダード版］のポリシー作成ツール利用時の画面です。



特長5 保護ポリシーの管理方法によって［スタンダード版］［サーバー管理版］から選べる

保護ポリシー作成から利用制御までPCだけで手軽に運用できる［スタンダード版］と、保護ポリシーやユーザー／グループ／端末情報をサーバーで一元管理できる［サーバー管理版］をご用意しています。運用目的や規模に応じてお選びいただけます。